

北海道地方における流域治水シンポジウム 千歳川流域における取組

(北島遊水地)

(東の里遊水地)

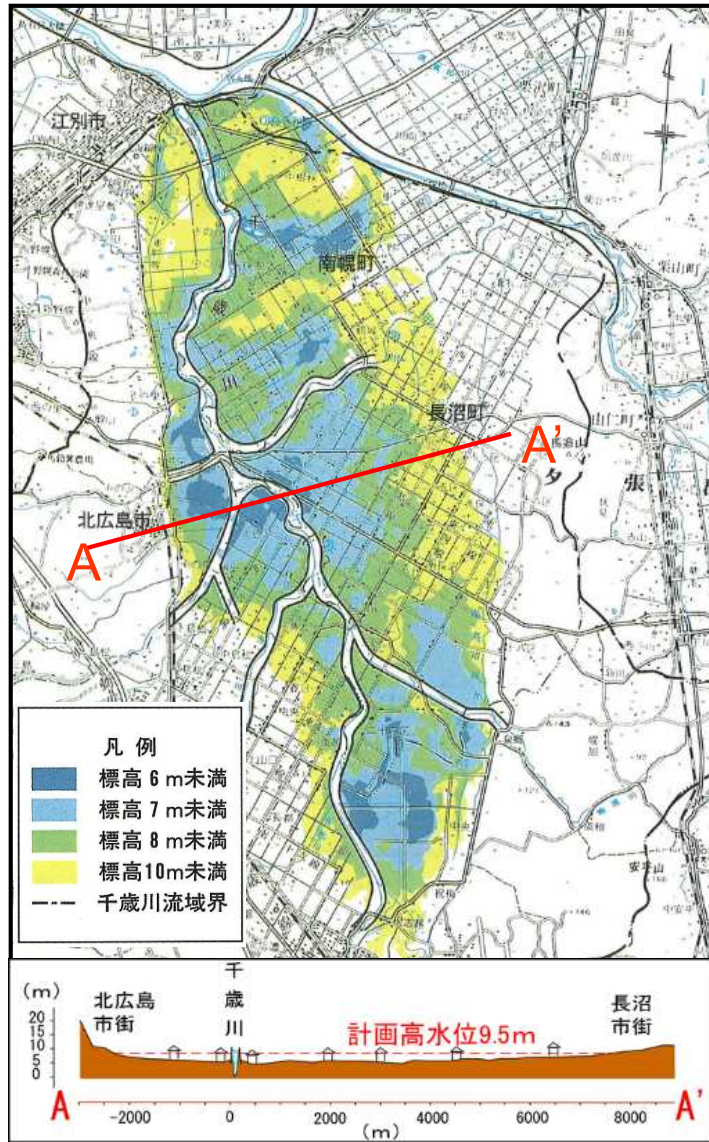
令和3年7月2日
札幌開発建設部

(北島遊水地・東の里遊水地 令和2年5月撮影)

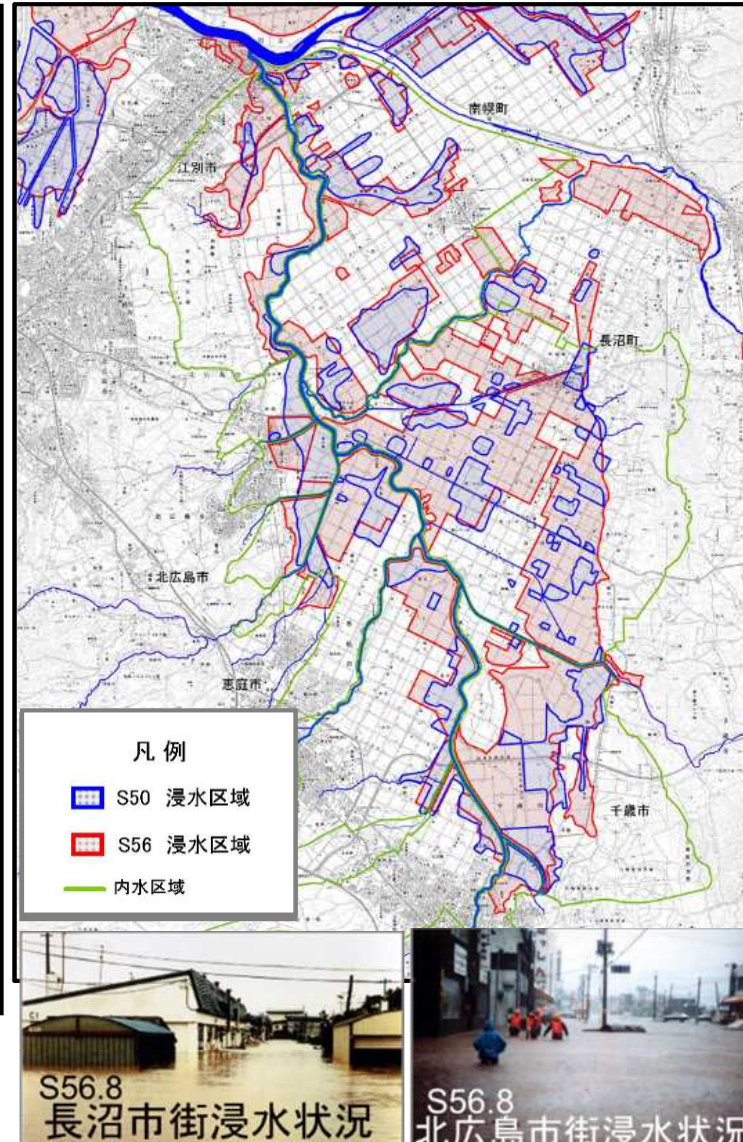
地形特性と浸水被害実績

○ 千歳川流域は中下流部に広大な低平地が広がっており、洪水時に石狩川の高い水位の影響を受け、特にS50、S56年洪水では甚大な被害となった。近年においても内水氾濫被害が頻発。

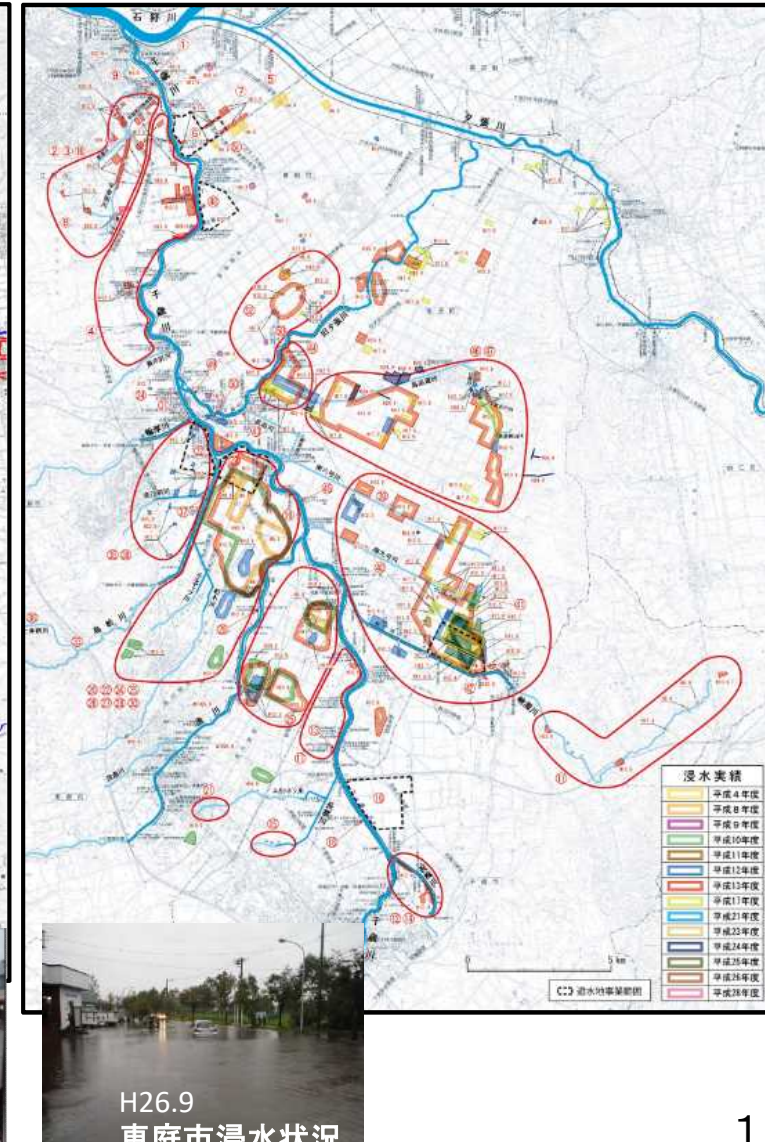
地形特性



S50・S56浸水実績



近年浸水実績



千歳川流域治水対策整備計画

- 千歳川流域の流域対策、外水対策、内水対策などの総合的な治水対策を推進するために、関係機関が連携を密にし、千歳川流域の治水対策を協議・検討し進めている。

令和2年7月に示された河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策である「流域治水」の考え方を先取りした取組

■千歳川流域治水対策協議会の構成

北海道 開発局	建設部長、農業水産部長、札幌開発建設部長
北海道	総合政策部長、農政部長、建設部長、空知総合振興局長、空知総合振興局副局長(建設管理部担当)、石狩振興局長
関係 自治体	江別市長、千歳市長、恵庭市長、北広島市長、長沼町長、南幌町長
期成会	千歳川治水対策促進連合期成会長

千歳川流域治水対策整備計画 [変更]



平成27年10月

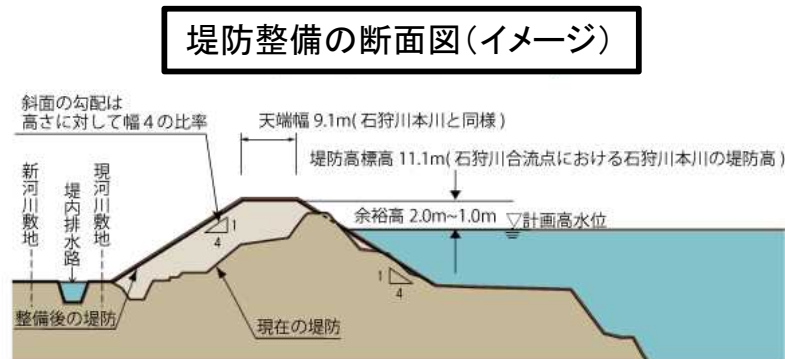
千歳川流域治水対策協議会

千歳川の治水対策(直轄工事)

○ 戦後最高水位となり、未曾有の大洪水となった昭和56年8月上旬降雨により発生する洪水を石狩川の整備と相まって計画高水位以下で安全に流すことを目標。

堤防整備

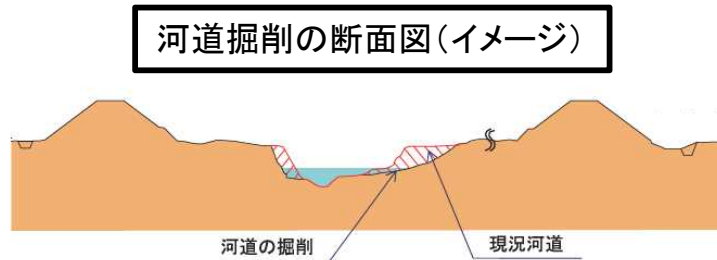
◆石狩川の高い水位の影響を長時間受けることに対応した、石狩川合流点における石狩川本川と同程度の堤防高・天端幅を有する**堤防整備**を実施



河道掘削

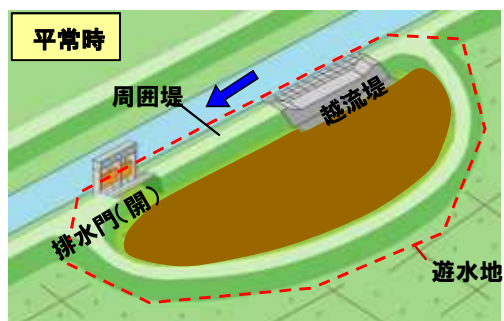
◆河道断面が不足している区間では、洪水時の水位を下げる**河道掘削**を実施

・千歳川本川、剣淵川、祝梅川、漁川の河道掘削は完了



遊水地群

◆昭和56年8月上旬降雨により発生する洪水のピーク水位を計画高水位以下となるよう流域4市2町の地先において、洪水調節容量がおおむね5千万 m^3 の**遊水地群**を千歳川本支川に分散して整備



■千歳川遊水地群
規模(6遊水地合計):
洪水調節容量 約5千万 m^3 、面積 1,150ha
主な施設: 周囲堤、越流堤、排水門等
事業期間: 平成20年度~令和元年度

